

## 目 次

1 . 年度切替えとシステム保守の実施に伴う計算サービス休止について (再掲, 訂正) . . . . .	1
2 . hpc システムの/home ファイルの容量制限の実施について . . . . .	2
3 . 期限切れファイルの消去 . . . . .	2
4 . 平成 1 8 年度講習会計画について . . . . .	3
5 . 平成 1 8 年度 I T 相談コーナー担当者について . . . . .	4
6 . メールサーバ(nucc)のメールボックスの利用状況を確認してください (再掲) . . . . .	5

- 1 . 年度切替えとシステム保守の実施に伴う計算サービス休止について (再掲, 訂正)  
年度切替え処理及びシステム保守ため, 下記のとおり計算サービスを休止します。
  - ・スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバ (hpc)  
3月31日(金) 7:00 ~ 4月1日(土) 9:00 の間サービス休止
  - ・メールサーバー(nucc)及びその他のワークステーション  
3月31日(金) 9:00 ~ 15:00 の間サービス休止なお, 4月3日(月)は, 定期保守日ですが通常どおり計算サービスを行います。

注 1 ) 年度切替え作業開始時まで実行が終了しないジョブはキャンセルしますのでご了承ください。

注 2 ) メールサーバーは保守作業が終了次第, サービスを開始します。

注 3 ) 年度切替え処理を行った後は, 継続手続きがされていない利用者はシステムの利用ができなくなります。メール等の利用もできなくなりますので早めに手続きをしてください。

## 2 . hpc システムの/home ファイルの容量制限の実施について

最近、/home のファイルシステムが満杯になり、qsub したジョブが異常終了するなどの状況が起こっています。このような状況になると、ユーザごとのファイルの使用量の多少に関わらず、すべてのユーザが影響を被ります。そこで、6月5日(月)より、hpc システムの/home のファイルに対して、ユーザ単位での容量制限(ディスク・クォータ)を実施します。このファイルの容量制限の設定では、ハード制限、ソフト制限、猶予期間の3つのパラメータを指定します。それぞれのパラメータの値は、ソフト制限：50GB、ハード制限：100GB、猶予期間：1週間とします。この設定により、以下のような状況になります。

<u>/home のファイル使用量</u>	<u>状況</u>
50GB 未満	従来どおり
50GB 以上 100GB 未満 (ソフト制限超過状態)	1週間に亘り超過のメッセージをユーザに通知し、1週間を超えた段階で 50GB を超えての書き出しは不可となります。
100GB 超え (ハード制限超過状態)	出力できません。

ファイルの使用量が 50GB 以上になった場合には、すみやかに高速大容量ファイルへコピーするか、不要なファイルの削除などの対処をお願いします。

このファイル容量制限の設定は、6月5日(月)の定期保守日を予定しています。/home のファイルの使用量の多いユーザの方は、高速大容量ファイルの利用を検討してください(「スーパーコンピュータ利用の手引」参照)。なお、高速大容量ファイルに対しては、従来どおりファイル容量の制限設定は、行いません。

## 3 . 期限切れファイルの消去

平成18年度に継続申請がされていない利用者のファイル(全システム)は、4月中旬に消去しますので、ご承知おき下さい。

必要なファイルは、3月末日までに外部媒体にバックアップするか、他の継続申請を行う登録番号にファイル名を変更してください。

4 . 平成 1 8 年度講習会計画について

2006 年度講習会計画

月	講習会名	内容
5	並列プログラミング講習会	hpc システム(スーパーコンピュータ及びアプリケーションサーバ)でのスカラチューニングの方法と並列プログラミング(自動並列化、OpenMP)
6	MPI 講習会	MPI(Message-Passing Interface)による並列プログラミング入門
6	XPFortran 講習会	スーパーコンピュータの XPFortran による並列プログラミングの講習
6	Mathematica 利用講習会(初心者向け)	数式処理システム Mathematica の利用方法
6	MATLAB 利用講習会(初心者向け)	MATLAB(matrix laboratory)の利用方法
6	Gaussian 講習会(初心者向け)	分子軌道法プログラム Gaussian の利用入門
7	-FLOW 利用講習会	汎用 3 次元流体解析システム FUJITSU/ -FLOW の利用方法
7	I-DEAS 利用講習会	総合設計支援システム I-DEAS の利用方法
7	LS-DYNA & eta/FEMB 利用講習会	非線形動的構造解析プログラム LS-DYNA の利用方法
7	Material Explorer 利用講習会	分子動力学ソフトウェア Material Explorer の利用方法
7	MOPAC 利用講習会	半経験的分子起動法プログラム MOPAC の利用方法
7	STAR-CD & CADfix 利用講習会	非構造格子・汎用熱流体解析プログラム STAR-CD の利用方法
7	ICEM CFD 利用講習会	汎用メッシュ生成・可視化統合システム ICEM CFD の利用方法
9	IDL 利用講習会	可視化ソフトウェア IDL(Interactive Data Language)の利用方法
9	AVS/VisLink 利用講習会	AVS/VisLink の利用方法(基本的な操作の実習および可視化の演習)
9	可視化講習会	センターの画像処理システムを利用した可視化の講習(立体視、コンテンツ生成)
10	並列プログラミング講習会(第 2 回)	hpc システムでのスカラチューニングの方法と並列プログラミング(自動並列化、OpenMP)
10	MPI 講習会(第 2 回)	MPI(Message-Passing Interface)による並列プログラミング入門
10	XPFortran 講習会(第 2 回)	スーパーコンピュータの XPFortran による並列化プログラミングの講習

5.平成18年度IT相談コーナー担当者について

## IT相談担当者一覧

### 【専門分野相談】

専門分野	担当相談員
SAS, SPSS, 統計解析	大屋 和夫 (環境学研究科・社会環境学)
SAS, 統計解析	下木戸 隆司 (教育発達科学研究科・教育心理)
Gaussian	和佐田 裕昭 (岐阜大学・地域科学部)
	和佐田 祐子 (名古屋市立大学・システム自然科学研究科)
MOLPRO	山本 茂義 (中京大学・教養部)
NUMPAC	秦野 甯世 (中京大学・情報理工学部)
ネットワーク関連	長谷川 明生 (中京大学・生命システム工学部)
CAEソフトウェア 可視化ソフトウェア	高橋 一郎 (センター・運用支援掛)

### 【面談相談】

(IT相談コーナー直通 TEL052-789-4366)

(相談時間 14:00~16:00)

曜日	担当者	相談内容
月	大屋 和夫(環境学研究科・社会環境学)	統計解析, SAS, SPSS
火	長谷川 明生(中京大学・生命システム工学部)	ネットワーク関連
	津田 知子(センター・研究部)	システム全般
水	下木戸 隆司(教育学発達研究科・教育心理)	SAS, 統計解析
木	和佐田 裕昭(岐阜大学・地域科学部)	Gaussian, 分子軌道法
金	田島 嘉則(センター・企画管理掛)	システム全般

6 . メールサーバ(nucc)のメールボックスの利用状況を確認してください (再掲)

全国共同利用システムのメールサーバ(nucc)では、利用者のメールボックスのサイズに制限をかけています。制限に達するとメールが受信できなくなりますので、ご注意ください。

なお、メールボックスの利用状況は以下のホームページから確認できますので、ご利用ください。

[http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/sys\\_riyou/nucc/nucctebiki.htm](http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/sys_riyou/nucc/nucctebiki.htm)